

絶賛開催中！

空前絶後の岡倉天心展



子育てママパパ優先鑑賞時間

小さなお子様連れでも気兼ねなく鑑賞できます！

小さなお子様をお連れの方が優先的に鑑賞できる時間帯を設けました

11月24日(日)・30日(土)・12月1日(日)

9:00～10:00

※通常の開館時間は10:00～18:00(金・土は20:00まで)

場所／福井県立美術館(福井市文京3-16-1)



〈開催概要〉

岡倉天心の美術指導者、思想家、行政官としての業績や新しい日本画を目指し設立した日本美術院での天心と弟子たちの活動について、国内外の日本画の名品やゆかりの資料(約200点)を一堂に集め紹介します。

□開催期間 12月1日(日)まで 休館日25日(月)

□観覧料 一般1,000円、高・大生 700円、小・中生500円、未就学児は無料



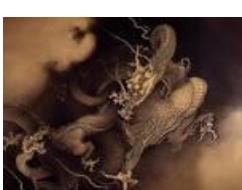
《みどころ》

■県内過去最大規模、近代日本画の名品が一堂に！



●フェノロサ愛蔵コレクションが約100年ぶりに揃います

天心の師であったフェノロサの愛蔵コレクションとして名高い、狩野芳崖筆「飛龍戯児図」、橋本雅邦筆「毘沙門天図」(フィラデルフィア美術館)狩野芳崖筆「仁王捉鬼図」(東京国立近代美術館)、「伏龍羅漢図」(福井県立美術館)の4点が約100年ぶりに一堂に会します。



●幻の作品が56年ぶりに再出現



橋本雅邦筆「臨済一喝」(個人蔵)は、長らく所在不明となっていた作品で、56年ぶりに再出現しました。

裏面へ



●空前絶後、日本画の名品の数々

菱田春草筆「王昭君図」(山形県善寶寺・重要文化財)、「菊慈童」(飯田市美術博物館)、「落葉」(福井県立美術館)をはじめ、西郷弧月筆「春暖」(東京藝術大学)、横山大観筆「流燈」(茨城県立美術館)、下村觀山筆「美人觀桜」(佐久市立近代美術館)など、近代日本画を代表する名作が会場を彩ります。



重要文化財



●鬼才の木彫家・山田鬼斎作、迫真の模刻仏像 →
本県出身の山田鬼斎(1864-1901)作「世親立像(興福寺)」「聖観音立像(薬師寺)」の模刻(東京国立博物館)、「鬼神置物」(宮内庁三の丸尚蔵館)

■岡倉天心と福井との関係

福井と天心の関係を深く掘り下げ、検証しました。特に天心の両親—父・覚右衛門と母・このーについて、新資料を多数交えて紹介しています。

■手塚雄二特別館長(日本美術院同人)の大作を特別出品

「海音」(六曲一双・164×720cm)(個人(岐阜県)蔵)
平成9年 院展文部大臣賞受賞作品



■東京美術学校の日本画制作現場を再現

東京藝大の協力を得て、当時のデッサン現場を再現。座って写真を撮影することができます。



■美術館喫茶室もリニューアルしました！

女性に大人気の「てんしんパフェ」「おかくらぜんざい」などの特別メニューもあります。

<問合せ先> 福井県立美術館 住所/福井市文京3-16-1 Tel 0776-25-0452

特設サイト <http://info.pref.fukui.jp/bunka/bijutukan/heartofheaven/index.html>